

**練馬区がん患者等ニーズ調査
結果報告書**

目次

● 調査の概要	p. 1
● 調査結果	
➤ 患者調査	
1. 回答者の属性／背景情報	p. 4
2. 治療生活における困り事	
1) 困り事の実態	p. 10
2) 困り事と相談・支援の関係／分析	p. 18
3) 困り事の解決のために活用した情報収集源	p. 23
3. 就労	
1) がん診断後の就労状況	p. 24
2) 就労継続の実態	p. 25
3) 退職・廃業の実態	p. 28
4) 就労継続に必要なだと思うこと	p. 30
4. アピアランスケア	
1) アピアランスケア製品使用の実態	p. 31
2) 最も費用が多くかかったアピアランスケア製品	p. 33
5. がん相談支援センターの認知とニーズ	p. 35
6. 地域の相談窓口のニーズ	p. 36
7. 地域でのがん経験者との交流のニーズ	p. 37
8. 地域におけるがん患者支援に対する意見	p. 38
9. アンケートを知ったきっかけ	p. 39
➤ 家族調査	
1. 回答者（家族）の属性／背景情報	p. 41
2. 患者の属性／背景情報	p. 44
3. 家族の療養生活サポートにおける困り事	
1) 困り事の実態	p. 47
2) 相談・支援を受けなかった理由	p. 54
3) 困り事解決のための情報収集源	p. 56
4. 就労	
1) 家族のがん診断後の就労継続状況	p. 57
2) 就労継続の実態	p. 58
3) 退職・廃業の実態	p. 59
4) 就労継続に必要なだと思うこと	p. 60

5. がん相談支援センターの認知とニーズ	p. 61
6. 地域の相談窓口のニーズ	p. 62
7. 地域での交流のニーズ	p. 63
8. 地域におけるがん患者家族支援に対する意見	p. 64
9. アンケートを知ったきっかけ	p. 65
➤ 本調査のまとめ	
1. 患者調査	p. 66
2. 家族調査	p. 73
➤ 監修者のことば	p. 76

調査の概要

I 調査の背景

がんは、日本人の死因の第1位であるとともに、生涯のうち2人に1人が罹患すると推計されるなど、生命・健康にとって重要な問題となっている。一方で、医療の進歩により5年生存率が上昇し、外来で治療を受ける人が増加するなど、がんの治療を受けながら、就労、家事、育児などの日常生活を送る患者が増加しており、がんに関しても安心して地域生活が続けられる支援の重要性が認識されるようになった。

国は「がん対策基本法」を基に「がん対策推進基本計画」を策定し、「がん予防」「がん医療」とともに「がんとの共生」を施策の柱に位置付け、「尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築」を目指すとしている。

練馬区では、「健康づくりサポートプラン」（令和2年3月策定）において、「がん予防」「がん検診」「がんとの共生」を3本の柱とした「総合的ながん対策」を施策として定め、取り組みを始めたところである。

がんの治療を受けながら日常生活を続けるための支援については、その必要性が高まっており、練馬区においても、がん患者が治療をしながら生活する上での困り事などの実態を把握し、今後の具体的な支援策を検討する必要がある。

II 調査の目的

がんに関しても安心して日常生活を続けられるよう、練馬区としての具体的な支援を検討するにあたり基礎となる資料を得るため、がん患者本人やその家族の生活における実態およびニーズを把握する。

III 調査の方法等

(1) 対象

がんを経験した人、がんを経験した人の家族

(2) 調査期間

令和4年10月1日から令和4年11月25日

(3) 設問概要

患者票	家族票
1. 属性	1. 回答者の属性
2. 治療生活における困り事	2. 患者の属性
* 「病気/治療」「生活」「関係する人」 3つの分類に分けて質問	3. 家族の療養生活サポートにおける困り事 * 「生活」「関係する人」「心身のこと」 3つの分類に分けて質問
3. 就労	4. 就労
4. アピアランスケア	5. がん相談支援センターの認知とニーズ
5. がん相談支援センターの認知とニーズ	6. 地域の相談窓口のニーズ
6. 地域の相談窓口のニーズ	7. 地域での交流のニーズ
7. 地域での交流のニーズ	

(4) 調査方法

Web 調査、紙調査票(医療機関で配布し、郵送で回収)

※紙調査票は、Web 調査が困難な方のために一部の医療機関で配布した。

(5) 調査の周知方法

- ・PeerRing 他、全国の患者団体等からインターネットを経由した周知
- ・区内・近隣の医療機関、区内の公共施設、薬局、イベント等でのチラシ配布

(6) 回収数

(人)	全体	うち東京都	うち練馬区
患者	1,257	440	154
家族	416	243	145
合計	1,673	683	299

※調査結果中の表・グラフでは、「全体」「東京都」「練馬区」の回答数、割合を表示している。

「全体」には東京都と練馬区の数、「東京都」には練馬区の数が含まれる。

IV 調査に関する補足

- ・患者票において、回答者の9割を女性が占め、がん種では乳がんの比率が約7割であった。主に、患者コミュニティ等を通じ、Web上で周知を行ったため、オンラインのがんコミュニティの参加が多い、女性がん罹患者の回答割合が大きい結果となっている。
- ・調査報告では、ウエイトバック集計等の補正の適用可否を検討した結果、単純集計結果を踏まえて考察を行うこととした。なお、偏りが結論に影響を与えられられる箇所においては、男女別集計結果を掲示する。